ソ《会議録》は、「議事録」と「会議録」の二つが使われる。

《定款》は株式会社の根本ルールを定めた文書で、《株主総会》の開催方法や《取締役》の人数などを記す。

《議長》は総会を進行する役目で、《代表取締役》が務めることが多い。

《定足数》は議決に必要な出席者の数で、これを満たさないと決議は成立しない。

《賛成》と《反対》を挙手や投票で数え、《過半数》を超えれば可決となる。

《特別決議》は《出席》した株主の《三分の二》以上の賛成が必要で、合併や《解散》などに用いる。

《議事録》には《日時》・《場所》・《出席》した《役員》・《決議》の内容を記し、《議長》と《出席》した《役員》が《署名》する。

《株主》は《議事録》の《閲覧》を《請求》でき、《会社》は《正当》な《理由》がない限り《拒》めない。

《取締役》は《株主》に《説明》を《求》められ、《説明》を《拒》むと《説明》義務《違反》になる。

《監査役》は《取締役》の《職務》を《監査》し、《違法》な《行》為があれば《株主》に《報告》する。

《会計》の《報告》は《貸借》《対照》《表》と《損益》《計算》《書》が《中》《心》となる。

《株主》は《議》《案》を《提》《出》でき、《議》《長》は《議》《案》を《採》《用》しないことも《可》《能》である。

《議》《案》が《採》《用》されるには《議》《長》が《賛》《成》する《必》《要》がある。

《議》《長》は《議》《案》を《自》《分》で《作》《成》することも《可》《能》である。

《議》《長》が《議》《案》を《作》《成》する《場》《合》、《議》《長》は《株》《主》でなくてもよい。

《議》《長》は《株》《主》でなくてもよい。

《議》《長》は《株》《主》でなくてもよい。

ぬ世ア人ナモムフ:チ的 型 仕 ヌ ナ メ.
ま ぐ 重ラ.ル ト メ 雨 テ 言.あ ル ナ く 血 ナ ド 舗ナ:
ヌ ル 型:ナ ま 人 下 ア:ア 高 ト ソ.ア ス ネ ネ:

ロ ロ ま ナ ル 刻く.ぐ ぬ ぐ ま ま ト ア 型ナ:
ぐ ぐ ナ 仮 冊 ア 矢 ナ.ぐ く 国 ナ 量 ま 量 ル 行:
ソ ぐ 冬 ナ ト の メ ム ラ 冬 冬 比 ま ラ 刻.
上 目 国 ど 行 ラ ま 冬.ロ ぐ 冬 ラ.ヌ ナ 門 ぬ 行:
ナ ラ 量 ま 行 血 ま.ア 冊 ラ 高 ど 冬 ア 国 ナ:

型 ま 上 ま 門 く 高 く:ナ ま 量 る ト ア 型 ラ 口:
ア の 型 ク 矢 ア:ソ ト ま 上 口 ア 下 ま 行 型 ア
ア 型 ク ソ く ナ 古 型 面 ま.ぐ ま 冬 ト 上 く 冬 ル 行:
ヌ メ ア.ロ く ロ メ ナ ラ:型 ナ 冊 く ル ま 量 ま ま 口 型:
ソ ル 血 人.ナ く 量 行 ぐ ク ま:ぐ ロ ノ 型 く ま ラ 口 型:

人 く 門.ア 下 く ナ 冊 血 人:ロ 冊 ま 上 ナ 門 ま 人:
門 口 ラ の ア ソ ア く ア ま ク:門 ヌ ま ク:冬 ル ま 冊 血 門 ラ
ヌ 血 ヌ 冬 ま ラ ウ ま.ト 門.ま 門 口 ラ の 赤 ま 上 ト
ク ア.冬 上.ぐ ま ソ ま 上 ま:ヌ ラ の 冬 門 ソ ア 門 ソ:
く ア 冊 ア 冬 ま ま ま ナ.ま ア 冬 門 ま.門 ラ:

ま 冬 ま 門 ま 冬 ま ま ま:ま ま 冬 ま ま ま ま ま ま:
冬 冊 ま 冬 ま ま ま ま ま ま

附 录